

令和3年  
5月号  
**地域おこし  
協力隊新聞**



全村博物館構想担当

**中田大慈**

今年度は米農家さんと果樹農家さんに協力していただき、一連の流れを撮影してもらえらることになりました。作業内容の意味やつながりを理解することができると、元一さんの写真の見え方も変わってくるのかなと思います。

それから全村博だよりのコーナーとしてウェブ写真展を開催することになりました。一か月の活動の中で印象的な事象か、季節感のあるものを投稿しようと思います。

あとは、一か月ほど開催されていた中馬ぬくもり街道ひな祭り、今年は早く咲いて早く散ってしまった感じのある桜、人が戻ってきた花桃の里で撮影した写真や動画をYouTubeにアップしているのでこちらも見てくださいと嬉しいです。



全村博物館構想 YouTube チャンネルに動画アップしています



浪合地区担当

**伊藤志野**

こんにちは。相変わらず感染症の猛威は続き、なかなか自由に動けない日々ですが、そんな中でも畑作業は感染症の心配が少なくできるのでありがたいと感じます。

今年は前年度に使用していた防除用の柵に加え、長野県が開発した「長野式電気柵」を設置して検証することとなりました。こちらの事業は西部地区代表の圃場ということで皆さんに見ていただきつつ進めていくもので、この広報誌がお手元に届く頃には設置できている予定です。浪合振興室近くの圃場に設置しますので、近くにお越しの際はぜひお立ち寄りいただければと思います。また、トウモロコシの最盛期を迎える前に駆逐用煙火の取扱い講習会も予定しており、今年は被害に先立って動くように計画を立てています。

害獣被害から守りたい作物の中でもトウモロコシは浪合の特産ですが、広めていきたいと考えており



ハーブの芽が出ました

色々な可能性を探り販売につなげようという模索中です。浪合の農家さんと一緒に関係先のご意見をいただきつつトウモロコシを活用した産物を作れたらと進めています。こちらにも進展がありましたらまたお伝えします。

私の任期も一年半を迎え、折り返し地点となりました。後半も精力的に活動していきますのでよろしくお願いたします！



清内路地区担当

## 樋上育子

たくさんの方が咲く季節となりました。清内路の花桃の開花を見ている中で、その成長を日々感じたり、色とりどりの風景や、満開の桜を見たりしながら、そのきれいな心臓が穏やかになる今日この頃です。

ここから、最近の活動報告を二つさせていただきます。

一つ目は、伝統野菜についてです。保存会の畑も始まりました。耕運機で畑を耕す、肥料をまく、うねをつくる、マルチをかぶせる、すべてが新しく新鮮です。手伝っているのか何をしているのかわからなくなりま



すが、クワの使い方なども教えていただき、自分で作り出す楽しみも味わわせていただけ

ることに感

謝です。種をまいて、芽が出て生長していくのも、これからの楽しみです。



二つ目は旬・季節の味を記録として残していくことです。家庭料理を味わう会の方とともに、季節ごとの食材・調理法・清内路ならではのものも含め、まとめ始めました。地域の方に調理法や保存法を習い、何らかの形で発信していくことも考えています。先日、もちぐさ(よもぎ)で天ぷらを作りました。旬のものは、香りもよく、おいしいですね。自然の恵みに感謝し大切にしたいと思います。



阿智村産業振興公社

## 浅井地弥

3月1日から地域おこし協力隊として活動させて頂いている浅井地弥(あさいくにや)と申します。愛知県岡崎市出身です。有名なものといえば八丁味噌と岡崎城くらいですが、車の渋滞を除けば住みやすい場所だと思います。

私は、人と車の多さに嫌気がさし、自然が好きだったことから阿智村への移住を決意しました。

私の主な活動としては、阿智村で就農することを目指し、農業研修をさせてもらっています。若手就農者の方との交流や、公社のホームページの編集もこれから始めていく予定です。

農業の知識や経験は、ほとんどないので、毎日が新しいことの連続です。あっとい間に1日が過ぎてしまつので、時間を無駄にしないように過ごしていきたいです。

3月の初めは、そこまで大きくなかったキュウリとトマトですが、一

か月で見事に成長し、日に日に収穫も大変になってきています。今では、ケースで市場に出荷されていたり、花桃まつりの会場でも販売されています。

農業は、自分の工夫の仕方や、手間をかけた分だけ、収穫量を増やせたり、良い品質の野菜を作ることができたりと、やった分だけ自分に返ってくるやりがいのある仕事だと思っています。

教わったことを活かして、就農を目指し頑張りますので、よろしくお願い致します。

